

# NPO 法人 海浜の自然環境を守る会ニュース

第 86 号 2026 年 3 月 15 日

〒663-8143 西宮市枝川町 19-10 甲子園浜自然環境センター内 甲子園地区埋立事業対策協議会気付

<http://www.npo-koshienhama.com/>

## 甲子園浜と高潮

2026 年 3 月 1 日、大阪市立自然史博物館で甲子園浜の植物について以下のことを報告しました。

甲子園浜を永年見ていると、浜の変化に気づく。埋め立て公害反対の法廷闘争の和解の後、テトラポッドを除去し、養浜工事が行われた。このような劇的な変化は誰でも気がつくが、その後のことは気づいているだろうか。生活の忙しさに紛れて、浜の少しずつの変化は分からないのが普通だ。残された記録をたどってみよう。

浜甲子園阪神パーク跡の砂浜にはコウボウシバなどの植物が生えていたが、養浜工事完了時、養浜部に植物は生えていなかった。



2004 年には幾度も高潮が襲い、9 月 7 日の台風 18 号の高潮は

浜に大量のゴミを残した。(2004 年 9 月 7 日台風 18 号あと) 西宮浜の検潮所では 176cm を記録した。浜の遊歩道は標高 3.1m、砂浜は 2.0m である。浜の中ほどに伸びるほぼ真直ぐな道の上にゴミの山ができた。これを取り去った跡にハマゴウが芽生えた。



よく見るとゴミの跡に 10 株を超えるハマゴウが芽生えた。

高潮が種子を運び込んだのだ。次の年には花を咲かせ、種子を実らせた。種子は良い香りがする。この香りが安眠に効くとのことだ。

2018 年 9 月 4 日、台風 21 号が 324cm の高潮で襲った。室戸台風の高潮よりもひどい。浜は完全に高潮に飲み込まれた。街は防潮堤によって安全がかなり守られたが、枝川町側の防潮堤は越波が激しく、街中に海水が入り込み甲子園九番町近くまで浸水した。



浜には大量のゴミが残された。(2018 年 9 月 4 日台風 21 号あと)

沖の埋立地にあった車置き場が発火して大変なことになった。

関空の連絡橋も損傷した。



この高潮の後、浜ではコンクリート階段の隙間にセンニンソウが生えて花を咲かせるようになった。

センニンソウはつる性植物で、山野の日当たりの良い場所に生える。クレマチスの仲間だが、



花期は 7~9 月。高潮によって種子が運ばれて来たのであろう。また、ハマゴウがコンクリート階段近くにも生えるようになった。種子が高潮によって拡散したのだろう。ただし、海から運ばれた可能性も残る。高潮は浜の植物を拡散もするのだろう。

養浜工事完了時には生えていなかったコウボウシバだが、



2016 年の海岸線の調査ではかなり生育していた。種子が到着していたのだろう。養浜後 20 年程経過した時点である。太平洋に面する浜では波が時に激しく襲うので、コウボウシバは波打際から離れて生育する。甲子園浜ではコウボウシバは波打際に生えており、所によって、高潮線よりも海側に生えている。しかも砂をつかまえて海岸線に出っ張り（砂堆）もできている。

甲子園浜では時に高潮が牙を剥くが、概して穏やかな浜なのだ。高潮が種子を運び込み、また浜の中で分布域を広げる。この浜は西宮市の素晴らしい財産だ。時々記録を残し、みんなで甲子園浜の自然を満喫しながら楽しみましょう。

阪口正樹



(2026 年 2 月浜の様子)



(養浜後 30 年間における甲子園浜の植生の返還)

## 「海浜植物」看板

甲子園浜には、およそ 200 種類の植物が自生しています。大阪湾でも希少な海浜植物もあり、季節ごとに美しい花を咲かせます。これらの植物へ関心を深めてもらうため、特に甲子園浜でよく見られる 8 種類の植物について紹介する看板を作成し、2026 年 1 月 20 日に設置しました。

- ・ハマダイコン
- ・ハマエンドウ
- ・ハマゴウ
- ・ハマボウ
- ・オカヒジキ
- ・コウボウシバ
- ・ハマヒルガオ
- ・ハマボウフウ



西宮市立甲子園浜自然環境センター前の堤防の浜側に、縦 60 cm、横 90 cmの看板があります。植物の生育場所を浜の地図で示しました。

看板に目を留めていただき、楽しんで頂くと共に海浜植物への関心と理解が深まることを願っています。

堤防壁に看板を設置するにあたって、設置する場所・方法・大きさ・形状などを尼崎港管理事務所に申請し、許可をいただきました。申請手続きには、西宮市花と緑の課にお世話になりました。設置した看板は、西宮市に寄贈いたしました。

向山裕子

## 活動報告

- ・ 12 月 16・18・23 日 海浜植物同定会

講師：水田光雄氏（兵庫県生物学会所属）



- ・ 1 月 11 日(日) こうしえんはまたこをあげよう！

42 名参加



- ・ 2 月 1 日(日) 冬の鳥観察会 33 名参加

講師：杉田義彦氏（野鳥の会ひょうご）



- ・ 2 月 12 日(木)～22 日(日)

EWC 環境パネル展作品出展

甲子園浜の養浜後  
30 年間の植生の  
返還と攪乱の記録



甲子園浜の生き物  
(模造紙 8 枚)

大阪湾生き物一斉調査

- ・ 3 月 1 日(日) 地域自然史と保全研究大会 2026

「養浜後 30 年間に於ける甲子園浜の植生の変遷」

ポスター発表 阪口正樹氏

※表面参照



## 活動予定

- ・ 3 月 29 日(日) 甲子園浜 海浜清掃
- ・ 5 月 3 日(日) 第 23 回総会・シギチドリ観察会
- ・ 5 月 17 日(日) 甲子園浜 遺跡探検
- ・ 5 月 18 日(月) 大阪湾生き物一斉調査
- ・ 6 月 7 日(日) 甲子園浜 海浜清掃